

中村

「中村会」創立50周年記念号

発行所 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



会友の皆様と共に

会長 萩原 義昭



2004年8月の総会で選出され、第7代『中村会』会長を務めさせていただいております10回生の萩原義昭です。どうぞよろしくお願いたします。

去る2005年8月20日の『中村会』創立50周年記念総会（講演会、祝賀会も含む）には、多くの会友（中村高校教職員やPTA関係者、同窓生）の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

また、50周年記念事業を推進する上でも、会友の皆様からご協賛をいただき、成功裏に記念事業を行うことができました。

さて、この1年間の活動を通し、以下の3点が成果ではなかったかと考えております。

- ①校歌を含め5曲のCDが作成でき、会友に配布できたこと。
- ②在校生や教職員の諸活動を支援する愛知県立中村高等学校教育振興基金『英気の泉』が開設できたこと。
- ③中村高校にて開催される土曜教養講座『中村未来塾』への人的協力の見通しがたったこと。

とは言え、今スタートラインについたばかりの活動です。こうした活動を地道に続けていく中で、急速に進みつつある日本の高齢化社会にあっても、自分を見失わず、希望をもって生きていくことのできる人材を、数多く輩出するような中村高校になってほしいと願っています。

会友の皆様には、今後共、ご支援・ご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

Try our dreams !

校長 三宅 正夫



岡田順一前校長先生の後を受け継ぎ、校長を本年4月より拝命していただきます三宅正夫と申します。どうぞよろしくお願申しあげます。

去る8月に開かれた50周年記念総会ではご多忙中、200余名ものご参加をいただきました。これも萩原義昭会長様はじめ皆様方のご尽力の賜物でございます。本当にありがとうございました。

1世紀以上も前、新渡戸稲造さんが「我、太平洋の架け橋たらん。(I want to become a bridge between the Pacific.)」と語ったそうであります。2万人余を擁する「中村会」においても、国内はもとより国際舞台で活躍をしている方々も大勢いらっしゃいます。そのような先輩の自学自習の精神と伝統を受け継ぎ、多くの後輩達も全国各地はもちろん、海外の著名大学等に進学をしています。さらに部活動・学校行事等でも活躍して、バランスのよい進学校としての地位を確立しております。そのような良き校風の伝統校で教えられることを本校教職員一同、大変光栄に思っています。

結びになりますが、私の思いを次の英文に託すとともに「中村会」会友の皆様方のさらなるご健勝を心からお祈りしています。

“Nothing happens unless first a dream.” (Carl Sandburg)
Try our dreams !

【総 会】



総務部会長による開会の辞



財務部会長による賛助会費導入報告

【講演会】

演題 「中村は心のふるさと」

講師 内藤洋子さん (14回生)



「夢さえあれば…」と熱弁をふるう内藤さん

内藤洋子さんの講演に感動

「艱難辛苦汝を玉にす」という言葉は内藤洋子さんのためにある言葉だと思います。姉弟を襲った過酷な運命に立ちすくむ想いだったでしょうに。その運命から逃げ出さずに正面から向き合った内藤さんの姿に感動しました。小学生の弟さんと二人でさぞや心細かったでしょうに、くじげずによく頑張られました。そういうしっかり者に育てたご両親が立派ですね。

苦労話をさらっと話されるのには驚きました。すごいですねえ。ただ者ではありません。中村高校は内藤さんのような卒業生をもって名誉なことですね。お話が実にうまくて、時間いっぱい集中して拝聴させていただきました。ありがとうございました。

(15回生 前島睦子)

トークショーに参加して

先回の舞台上で、内藤洋子さんは私たちに大きな問いを投げかけられました。「今、あなたたちの為すべきことはなんですか?」と。

今回の講演とトークショーでは、その答えを教えていただいた気がします。私たちは教育を受けることや、親が御飯を作ってくれることを当たり前のように考えてしまっている気がします。その有り難みをかみ締め、毎日感謝しながら生きていくことを、内藤さんに教えていただきました。

(47回生 井上純徳)



「わが故郷は平野金物店」出演メンバーによるトークショー

【懇親会】



15回生と三宅校長

懇親会に参加して

同窓会創立50周年記念の懇親会で良かったと思ったのは、同窓生の声楽家による独唱です。なお、同窓会総会後の懇親会に長年参加して感じることは、参加者の同窓生の顔ぶれが毎回同じ人に固定されてきていることです。

これは、ほぼ2年に1回開催している、私が3年生の時のクラス会についても同じことが言えます。同窓会等に対する個人の価値観の低下が普通の時代なのかもしれません。これにめげず、役員各位のご奮闘を望みます。

(15回生 桜井吉晴)

【アトラクション】

声楽家による独唱



熱唱する永井秀和さん

声楽家 永井秀和さんのご紹介 (29回生)

中村高校を経て、東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。声楽を水野俊彦、鈴木寛一、黒田 清、住谷 伴の各氏に師事。

1989年～1993年ウィーンへ留学。在欧中、フランス歌曲をカミユ・モラーヌ氏に師事。

また、1992年にはニューヨーク、コーネリウス・R. リード氏の発声マスタークラスに参加。

その間、ウィーン・エアバー・ザールでのコンサートの他、二度のジョイントコンサートを開く。

リメンバー中村祭



学生気分でジェンカを楽しむ



優勝賞金を「英気の泉」に寄付し、会友の想いを託す

全員合唱



萩原会長のリードで始まった全員合唱



会場にこだまする中村高校校歌

母校だより

文化祭を終えて

1年 西村あかね

9月17日、文化祭の一般開放日。

私は、この日のために何日も費やしました。と言うのも、私は生徒会執行部で会計を務めていたからです。終わった今、もう体はボロボロで壊れそうです。

私の仕事の中で一番大変だったのが、模擬店と、2年前から始まったアイス販売の運営です。模擬店は有志の生徒さんが食べ物を売ってくれるのですが、それまでの準備・企画が大変で、執行部をやめたくなるほどでした。アイス販売は、私と執行部の仲間で売り歩きました。大きな声で「アイスはいかがですか?」と何度も言って歩きました。次の日はのどが痛く、声がかすれていました。

しかし、模擬店とアイス販売は共に成功を収め、文化祭が終わった後には、涙が出そうなほどの充実感や達成感で胸がいっぱいになりました。

またクラス発表で私のクラスは1年生にもかかわらず、ビデオカメラで映画を撮り、教室で放映するという難しい発表に挑戦しました。準備は大変だったけど、お客さんに「よかったよ、感動した。」と言われて、とてもうれしかったです。

こんな気持ち味が味わえるのは、今私が中村にいるからだと思います。そしてまた来年、私達の努力の結果を見に沢山のお客さんが来てくれるのを楽しみにしています。



中村高校の近況

■部活動（県大会以上出場）

H17大会結果

陸上部	男子400mH 東海総体出場 男子100m 県総体出場
弓道部	市民スポーツ祭個人入賞
テニス部	女子シングルス県総体出場
卓球部	男子S、国体予選県大会出場
剣道部	男子個人、県総体出場
バレー部	男子、選抜予選名南大会ベスト8
水泳部	女子平泳ぎ県総体出場 女子平泳ぎ県新人出場
ラグビー部	総体名南大会4位
体操部	男子団体県総体出場 男子団体県新人出場
ダンス部	オールジャパン・ダンスフェスティバル出場
サッカー部	県総体出場（3年連続）
野球部	秋季リーグ2次予選進出

■部活動以外での活躍

空手道（2年生男子）

石原裕大

全国高校総体（千葉県）	出場
県高校総体	個人（形の部） 第2位
東海高校総体	個人（形の部） 第3位



■大学進学状況（過去3年間の合計）

国公立大学

大学名	数
北海道大学	3
東京外国語大学	1
東京農工大学	1
信州大学	3
富山大学	2
金沢大学	1
静岡大学	8
岐阜大学	24
名古屋大学	6
名古屋工業大学	11
愛知教育大学	13
三重大学	12
京都大学	1
広島大学	1
横浜市立大学	2
愛知県立大学	6
名古屋市立大学	10
その他	141
計	246

私立大学

大学名	数
愛知大学	108
愛知医科大学	3
愛知学院大学	111
愛知工業大学	65
愛知淑徳大学	90
金城学院大学	52
椋山女子学園大学	47
中京大学	192
名古屋外国語大学	43
南山大学	123
日本福祉大学	29
名城大学	201
慶應義塾大学	8
早稲田大学	7
明治大学	11
法政大学	15
同志社大学	26
立命館大学	60
関西大学	20
関西学院大学	19
その他	548
計	1,778

■留学生の受け入れ

AFS 留学生（年間プログラム生）

アシュリ・エリザベス・ドナー

アメリカ合衆国からの留学生（女子）
平成17年4月から平成18年2月まで通学予定
2年6組に所属し、バレーボール部と合唱部に参加



第1回 土曜教養講座「中村未来塾」

10月29日、朝からのあいにくの雨の中、第1回中村未来塾が在校生47名、PTA・同窓生・職員31名、合わせて78名の出席する中始まった。会場の中村高校会議室には朝日新聞の記者やCBCテレビのクルーが取材に駆けつけ、いつもとは違い華やかな雰囲気に包まれていた。

三宅校長先生の開講宣言、中村 PTA 会長の講師紹介の後、21回生である大阪地検特捜部副部長城祐一郎氏が登壇した。城副部長は、検事の仕事内容や検事になるまでの紆余曲折を、ご自身の体験談を交えとてもわかりやすく説明して下さった。

23歳で司法試験に合格するため、自転車通学・入浴・用便の時以外は全て勉強していたというエピソードは、受験を控える生徒たちにとって少なからぬ衝撃を与えたと思う。また、人生の進路選択において、高収入の保証された弁護士や、憲法で地位が保証されている判事よりも、直接捜査や取調べも行う検事という最も大変な仕事をあえて選んだ城副部長の生き様は、出席者全ての心を熱くする、示唆に富んだものであった。

法治国家の秩序を守るために命を張って仕事に臨んでいる、城副部長の凛とした熱意に圧倒され、あつという間に予定の時間を30分ほど延長して講演は終わった。

今回は、2月4日(土)に名古屋大学工学部教授伊藤義人氏(16回生)を講師に招いて行う予定である。



職員の人事異動

今年4月の異動は次のとおりです。(敬称略)

【ご退職】

小野 修一 (体育) 9年間

【ご転出】

岡田 順一 (校長)	1年間	旭丘高校へ
杉藤 充彦 (国語)	9年間	昭和高校へ
伊藤 忠良 (社会)	10年間	小牧高校へ
森 雅司 (理科)	10年間	名古屋南高校へ
亀井 桂司 (英語)	7年間	松蔭高校へ
天野 慎一 (英語)	7年間	瀬戸北高校へ
横井 典子 (事務)	6年間	津島東高校へ
長尾 秀樹 (事務)	2年間	教職員課へ
横井 愛子 (養護)	3年間	小牧南高校へ

【ご転入】

三宅 正夫 (校長)	小牧南高校より
尾関 達哉 (国語)	小牧南高校より
竹田 孝成 (理科)	鳳来寺高校より
岩田 賢治 (英語)	美和高校より
木村 正雄 (事務)	港養護学校より
都竹 達夫 (事務)	熱田高校より
七海 さくら (養護)	新任

前校長あいさつ

校長 岡田 順一



中村会同窓会の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。本年3月末までの一年間でありましたが、大変お世話になりありがとうございました。私にとりましては、中村高校での一年間は全力投球の毎日で、とても充実感がありました。これも萩原会長様を始め、同窓会の皆様のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます次第です。

たくさんの良い思い出がありますが、生徒の活動を、読売新聞(H16.8.4、生徒会長)、毎日新聞(H16.9.4、ダンス部)、中日新聞(H16.9.12、書道部)が取り上げてくれたことや、生徒会が新潟地震に際して、被災者への支援募金に一早く取り組んでくれたこと等があります。

構想を打ち上げただけで、実践は萩原会長様と三宅校長先生始め関係の皆様にご苦労をかけてしまったのが、愛知県立中村高等学校教育振興基金「英気の泉」と土曜教養講座「中村未来塾」並びに国際交流です。今年これらが着々と具体化されつつあり、同窓会50周年記念行事の大成功とともに感無量の喜びであります。現在も、校歌の一節「昔も今も 中村は 英気の泉 心のふるさと」を聞くと胸がジーンとなります。

末筆ながら、本校同窓会の一層の御発展と会員の皆様の御多幸を心から祈念申し上げます。

中村会役員一覧

回生	氏名	旧姓	役職	部会
10	萩原 義昭		会長	
15	宮崎 晃吉		副会長	財務・広報
16	笹野 明美	(寺西)	副会長	事業
24	角田 大輔		副会長	総務
20	墨 まゆみ		書記	総務
26	杉嶋 重男		書記	総務
18	堀田 久富		会計	財務部会長
26	加藤 伸夫		会計	財務
9	服部 吉隆		会計監査	広報
17	宮澤 成子	(宮澤)	会計監査	事業
18	堀田 守人		常任幹事	総務部会長
16	伊藤 義人		常任幹事	総務部副会長
22	太田 守彦		常任幹事	財務部副会長
15	吉川 欣一		常任幹事	広報部会長
11	杉本みち子	(渡辺)	常任幹事	広報部副会長
18	田中 隆彦		常任幹事	事業部会長
26	高木 靖之		常任幹事	事業部副会長
1	二村 忠雄		常任幹事	広報
2	高村 義男		常任幹事	総務
3	二羽 稔		常任幹事	財務
4	樹神 武夫		常任幹事	広報
6	鵜飼 守	(小笠原)	常任幹事	総務
7	笠谷 新吾		常任幹事	総務
9	中村 允昭		常任幹事	事業
10	松本 良平		常任幹事	事業
11	太田 和代		常任幹事	総務
13	佐藤 政信		常任幹事	財務

回生	氏名	旧姓	役職	部会
14	内藤 洋子	(平野)	常任幹事	広報
15	前島 睦子		常任幹事	財務
16	坂井 泉		常任幹事	広報
18	石黒 礼子	(小原田)	常任幹事	財務
20	山下 信子	(小泉)	常任幹事	総務
21	林 勝彦		常任幹事	財務
24	木村 和文		常任幹事	事業
26	岩田 賢治		常任幹事	広報
29	田口 健次		常任幹事	事業
29	尾関 達哉		常任幹事	財務
37	山田 幸雄		常任幹事	広報
39	大宮 功次		常任幹事	事業
41	大原 義行		常任幹事	総務
41	渡辺 大介		常任幹事	事業
41	有馬 健司		常任幹事	事業
43	加藤 里奈		常任幹事	財務
44	野水 弘司		常任幹事	総務
44	安井 隆博		常任幹事	広報
45	吉田 真良		常任幹事	事業
47	古木 啓介		常任幹事	財務
10	柘植 佳孝		会長相談役	
19	服部 保弘		会長相談役	
	三宅 正夫		顧問	中村高校校長
	川本 巽		顧問	中村高校教頭
	西尾恭一郎		顧問	中村高校教頭
	山田 好雄		顧問	中村高校事務長

賛助会費納入のお願い

日ごろより同窓会活動にご協力をいただきありがとうございます。「中村会」は50周年という大きな節目を迎え、教育振興基金「英気の泉」の開設や「中村未来塾」の人的協力など、同窓会活動をますます充実したものにしていくと動き始めています。そのためにも、財政基盤の確立が必要になります。

2005年1月29日に開かれました中村会役員会において、賛助会費の導入が正式に決まりました。年1口2,000円。1口以上のご協力をお願いしております。今年度まだの方は、同封の用紙にて払い込み願います。また、終身会費50,000円の制度もあります。さらには、便利な自動振替システムもご用意しています。

納入されました同窓生の皆様には、会報のお届け、総会のご案内などをさせていただきます。

もちろん、全ての同窓生に納入資格はありますが、納入はあくまで任意です。強制ではございません。しかし、同窓生ひとりひとりの気持ちが大きな力となりますことを願っています。

何卒ご理解を賜りまして、中村会のさらなる発展のために、皆様方の絶大なるご協力をお願い致します。

事業計画

母校、中村高等学校のさらなる発展を願い、当面は、次の二つの事業を中心に同窓会活動を進めていきます。

①愛知県立中村高等学校教育振興基金【英気の泉】の開設

- ・中村高校在校生や教職員の方々の諸活動を支援するための基金です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。(10月末現在、口座には、841,601円お振り込みをいただきました。)

☆「英気の泉」基金口座番号

UFJ 銀行 柳橋支店 普通預金 4709739
英気の泉 代表 萩原義昭

②土曜教養講座【中村未来塾】への人的協力

- ・PTAが主催し、中村高校で開催する在校生やPTA会員、同窓生を対象とした教養講座に、同窓生が講師として協力していきます。

※【英気の泉】、【中村未来塾】に関するお問い合わせは、中村会事務局(中村高校内)杉嶋重男まで。 TEL 052-411-7760

中村会創立50周年記念事業決算報告

収入の部 (単位=円)

科目	決算額
企業協賛金	990,000
個人協賛金	1,114,680
同窓会補助	1,500,000
計	3,604,680

支出の部 (単位=円)

科目	決算額
事業費(基金開設)	215,650
事業費(CD制作)	1,539,920
事業費(講演料など)	100,000
通信費	1,155,967
宛名出力費	150,000
事務費	371,518
雑費	71,625
計	3,604,680

平成17年度中村会会計予算

収入の部 (単位=円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	3,814,474	
入会金	1,388,000	347×@4000
雑収入	7,526	
計	5,210,000	

支出の部 (単位=円)

科目	予算額	備考
事業費	200,000	総会経費(会場費・看板代・音響設備等)文化事業費
HP運営費	200,000	プロバイダー 5,722×12=68,664 制作費等
通信費	500,000	会報発送費 5000×@80=400000
会報費	250,000	
会議費	30,000	各分会@5000 役員会@5000
諸雑費	50,000	
慶弔費	50,000	
名簿管理費	300,000	
予備費	100,000	
50周年予算繰入	1,500,000	
繰越金	2,030,000	学校周年行事 同窓会周年行事
計	5,210,000	

会員の声

——「あ、中村」「中村高校にて詠める」を 懇親会で歌わせていただいて——

母校である中村高校で、写真のお仕事をさせていただいて10年になります。今年度の撮影が始まりかけたころ、同窓会長の萩原様より今回のお話をいただいたとき、「自分には荷が重いのでは……。」と正直思いました。

というのも、人前で歌うということは12年ぶりだったのですから。

その後も役員の方々、萩原様には、何度も職場に足をお運びいただいたにもかかわらず、なかなかお目にかかれず、申し訳ない限りでした。

ようやくお目にかかってお話を伺う機会に恵まれ、中村に学んだ卒業生の縦(ジェネレーション)の結束を構築し、母校の将来への貢献を目的とする同窓会の青写真を、情熱的に語られるお姿を拝見し、中村出身者として共感を覚えざるを得ませんでした。

今回、われわれの歌いなれた校歌とはかなりイメージのちがう、学校創設時に作られた校歌の数々を歌わせていただいて、「縦」の違いによる新鮮さを感じました。自分たちの世代やもっと現役に近い世代も、他の世代の同窓生に向かって、同窓生という集まりの中で、その「縦」のギャップを主張していけたらいいのではないかと思います。

今後も、中村会の会友の一人として、自分のできることは精一杯やらせていただくつもりです。よろしくお願ひいたします。

愛知県立中村高等学校校歌



中村会ホームページ

<http://www.nakamurakai.gr.jp/>

中村会 HP を立ち上げて早6年目になります。今年初めに全面リニューアルし、先日行われた「同窓会創立50周年記念式典」の後、部分的にデザインを変更し、少しでも見やすく、なお且つカッコイイ HP を目指して制作してきました。

今後も母校からのニュースや同期会・クラス会のお知らせ、同窓会活動などタイムリーな記事を載せていきたいと思ひます。皆様からの情報提供やご提案、こんな企画があったらなどのご意見をお待ちしています。